

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
1																																																		
2	事業番号 0140																																																	
3	平成30年度行政事業レビューシート (文部科学省)																																																	
4	事業名	スーパーグローバル大学創成支援事業															担当部局庁	高等教育局										作成責任者																						
5	事業開始年度	平成26年度					事業終了(予定)年度	平成35年度					担当課室	高等教育企画課										高等教育企画課長 蝦名 喜之																										
6	会計区分	一般会計																																																
7	根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-															関係する 計画、通知等	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)、「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)																																
8	主要政策・施策	子ども・若者育成支援															主要経費	文教及び科学振興																																
9	事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界的に国境を越えた学生・教員の流動性が高まり、国際的な大学間連携の動きも進む中、我が国の大学の国際化は十分ではなく、世界的な大学ランキングでも外国人留学生の割合等が反映される国際関係の指標において評価が低い状況にある。本事業では、このような状況を踏まえ、我が国の大学の国際化を強力に推進し、大学の改革を促し、国際競争力を向上させることを目的としている。																																																
10	事業概要 (5行程度以内。別添可)	「スーパーグローバル大学創成支援」では、我が国の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により徹底した国際化を進め、世界レベルの教育研究を行うトップ大学や国際化を牽引するグローバル大学に対して、重点支援を行う。【定額補助】																																																
11	実施方法	補助																																																
12	予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求																																									
13			当初予算	8,678	7,178	6,342	4,001	4,685																																										
14			補正予算	-	-	-	-	-																																										
15			前年度から繰越し	-	-	-	-	-																																										
16			翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-																																										
17			予備費等	▲ 14	▲ 102	▲ 277	-	-																																										
18		計	8,664	7,076	6,065	4,001	4,685																																											
19		執行額	8,663	7,076	6,065																																													
20		執行率 (%)	100%	100%	100%																																													
21		当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	100%	99%	96%																																													
22	平成30・31年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由																																												
23		国際化拠点整備事業費補助金		4,000	4,684	「新しい日本のための優先課題推進枠」684																																												
24		諸謝金、職員旅費、委員等旅費、庁費		1	1																																													
25		計		4,001	4,685																																													
29																																																		

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
30	成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 31年度		目標最終年度 35年度																																					
31		採択大学における外国人 留学生比率の向上		採択大学における外国人 留学生比率		成果実績	%	7.1	7.7	8.4	-		-																																					
32						目標値	%	-	8.4	-	10.4		13																																					
33						達成度	%	-	-	-	-		-																																					
34	根拠として用いた 統計・データ名 (出典)																																																	
35	採択大学に対するフォローアップ結果																																																	
36	成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 31年度		目標最終年度 35年度																																					
37		採択大学における外国語 力基準を満たす学生数の 比率の向上		採択大学における外国語 力基準を満たす学生数の 比率		成果実績	%	17	18.4	-	-		-																																					
38						目標値	%	-	23.4	-	33.8		46.8																																					
39						達成度	%	-	-	-	-		-																																					
40	根拠として用いた 統計・データ名 (出典)																																																	
41	採択大学に対するフォローアップ結果 ※29年度実績値は、30年度中に調査予定																																																	
42	成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載																																																	
43																													チェック																					
79	成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載																																																	
100	活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込		31年度 活動見込																																							
101		採択大学における外国語による授業の実施率		活動実績	%	9.7	11.7	13.9	-		-																																							
102				当初見込み	%	-	10.3	-	-		15.2																																							
103	活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込		31年度 活動見込																																							
104		ナンバリング実施割合 ※ナンバリング:授業科目に適切な番号を付し分類する ことで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系的 性を明示する仕組み。		活動実績	%	38.5	61.9	78.3	-		-																																							
105				当初見込み	%	-	72.3	-	-		93.6																																							
106	活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込		31年度 活動見込																																							
107		年俸制の導入(年俸制適用者(教員)数/全専任教員数)		活動実績	%	23.1	26.4	28.7	-		-																																							
108				当初見込み	%	-	25.8	-	-		31.2																																							
115	算出根拠			単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込																																										
116	単位当たり コスト	年度執行額/取組件数		単位当たり コスト	百万円	144	118	164	108																																									
117				計算式	執行額(百 万円)/取組 件数	8,663/60	7,076/60	6,065/37	4001/37																																									

		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
700		事業所管部局による点検・改善																																																	
701		項目																				評価	評価に関する説明																												
702	国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。																				○	産業競争力会議や教育再生実行会議において、国際化を断行し世界と競う大学の重点支援の重要性が指摘されており、大学の国際化とグローバル人材育成の環境整備を推進する本事業への国民や社会からのニーズは高い。																												
703		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。																				○	本事業は、「日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)」を踏まえ、大学の国際化のための環境整備を推進するものであり、国が実施すべき事業である。																												
704		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。																				○	本事業は、「日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)」を踏まえ、大学の国際化のための環境整備を推進するものであり、政策目的の達成手段として必要かつ適切であるとともに、優先度が高い事業である。																												
705		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。																				○	国公立の全大学を対象に公募を行い、採択大学の選定にあたっては、有識者によって構成されるプログラム委員会及び審査部会を設置し、厳正な審査の上、採択プログラムを決定している。																												
706	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。																				無																														
707	競争性のない随意契約となったものはないか。																				無																														
708	事業の効率性	受益者との負担関係は妥当であるか。																				○	事業規模が補助金額を上回る分については、大学の財源による負担を求めている。																												
709		単位当たりコスト等の水準は妥当か。																				○	限られた予算において、より高い成果につながる活動が行われているかを毎年度のフォローアップにおいて確認している。																												
710		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。																				○	補助金交付時の申請書及び当該年度終了後の実績報告書において、各大学の支出が合理的なものとなっているかを確認している。																												
711		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																				○	補助金交付時の申請書及び当該年度終了後の実績報告書において、支出先・使途を把握するなど、費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているかを確認している。																												
712		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)																				-	-																												
713		繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)																				-	-																												
714		その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。																				○	補助金交付時の申請書及び当該年度終了後の実績報告書において、コスト削減や効率化に向けた工夫が行われているかを確認している。																												
715	事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。																				○	採択大学における外国人留学生比率、外国語力基準を満たす学生比率について、成果実績はスーパーグローバル大学創成支援事業開始前の平成25年度の実績を上回っており、事業の成果があがっている。																												
716		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。																				○	本事業は、大学の国際化のための環境整備を推進するものであり、個々の大学の自助努力だけでは難しい取組であるため、補助事業として効果的な取組と言える。																												
717		活動実績は見込みに見合ったものであるか。																				○	採択大学における外国語による授業の実施率、ナンバリング実施割合についての活動実績はスーパーグローバル大学創成支援事業開始前の平成25年度の実績を上回っており、事業活動による効果が認められる。																												
718		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。																				○	毎年度実施するフォローアップ結果など事業に関する情報をウェブサイトに掲載するなどの広報に努めており、大学関係者に活用されている。																												
719	関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)																				-																													
720		所管府省名	事業番号										事業名																																						
721																																																			
722																																																			
723																																																			
724																																																			
725																																																			
726	点検・改善結果	点検結果																				・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行って引き続き事業の適正な実施に努めている。 ・採択大学における外国語による授業の実施率、ナンバリング実施割合等については、スーパーグローバル大学創成支援事業開始前(平成25年度)の実績を上回っており、事業は着実に進められている。																													
727		改善の方向性																				・平成29年度に実施した中間評価の結果を踏まえ、事業目的が十分達成されるよう適切な助言を行うことで、適切かつ効果的な実施を促す。																													

		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
728	外部有識者の所見																																																		
729	外部有識者による点検対象外																																																		
730	行政事業レビュー推進チームの所見																																																		
731	事業内容の一部改善の	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、スーパーグローバル大学創成支援及び経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援を実施することにより、我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図ることを目的とした補助事業であり、事業評価に当たっては事業成果等及び予算執行状況の観点から評価を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は、「日本再興戦略(H25.6.14閣議決定)」を踏まえ、大学の国際化のための環境整備を推進するものであり、国の事業としての必要性は認められる。本事業は概ね計画通りに予算執行されているものと考えられるが、中間評価の結果を踏まえ、メリハリのある予算配分を行うなど、効果的・効率的な予算執行に努めるべきである。</p>																																																	
732	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																																																		
733	執行善改	平成29年度に実施した中間評価結果を踏まえ、メリハリのある予算配分を行った。引き続き、今後実施する評価をもとに、メリハリのある予算配分を行い、効果的・効率的な予算執行を行うこととする。																																																	
734	備考																																																		
735																																																			
736	関連する過去のレビューシートの事業番号																																																		
737	平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-																																											
738	平成26年度	142	平成27年度	147	平成28年度	145																																													
739	平成29年度	文部科学省 (0147)																																																	
740	資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	<p>※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。</p> <p>なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。</p>																																																	
741		<div style="text-align: center;"> <p>文部科学省 6,065 百万円</p> <p>〔職員旅費等 0.8 百万円を含む〕</p> <p>〔本事業の選定委員会の審査・評価結果に基づき、採択大学を決定するとともに、これら大学に対して補助金を交付する。〕</p> <p>↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【補助】</p> <p>スーパーグローバル大学創成支援 A.大学(全37件) 6,028 百万円</p> <p>〔海外や大学改革により、卓越した大学との連携・国際化を進めるための教育研究を牽引するグローバル大学の支援を行う。〕</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【補助】</p> <p>B.(独)日本学術振興会 (1件)37 百万円</p> <p>〔本事業の選定委員会を設置し、本事業の選定に係る審査等の業務を実施する。〕</p> </div> </div> </div>																																																	
742																																																			
743																																																			
744																																																			
745																																																			
746																																																			
747																																																			
748																																																			
749																																																			
750	A.学校法人早稲田大学		B.独立行政法人日本学術振興会																																																
780	費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)																																													
781	人件費・謝金	プログラムコーディネーター・支援スタッフ等雇用経費、学生指導謝金等	129	人件費・謝金	職員雇用経費、プログラム委員会謝金、書面審査・書面評価謝金等	23																																													
782	その他	コピー機使用料、ウェブサイト製作費、会議費等	87	その他	コピー機使用料、関係資料印刷費等	8																																													
783	旅費	ワークショップ・シンポジウム等旅費、新規協定校開発に係る旅費等	79	旅費	プログラム委員会等旅費	6																																													
784	間接経費	間接経費	16	物品費	消耗品費	0																																													
785	物品費	消耗品費	3																																																
791	計		314	計		37																																													
831	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載																											チェック																							

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
832																																																		
833																																																		
834	支出先上位10者リスト																																																	
835	A.																																																	
836		支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)																																									
837	1	学校法人早稲田大学	5011105000953	Waseda Ocean構想～開放性、多様性、流動性を持つ教育研究ネットワークの構築～	314	補助金等交付	-	-																																										
838	2	国立大学法人東北大学	7370005002147	東北大学グローバルイニシアティブ構想	308	補助金等交付	-	-																																										
839	3	国立大学法人東京工業大学	9013205001282	真の国際化のためのガバナンス改革によるTokyoTechQualityの深化と浸透	307	補助金等交付	-	-																																										
840	4	国立大学法人北海道大学	6430005004014	Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ～世界に開かれ世界と協働～	302	補助金等交付	-	-																																										
841	5	国立大学法人東京大学	5010005007398	東京大学グローバルキャンパスモデルの構築	300	補助金等交付	-	-																																										
842	6	国立大学法人京都大学	3130005005532	京都大学ジャパンゲートウェイ構想	292	補助金等交付	-	-																																										
843	7	国立大学法人九州大学	3290005003743	戦略的改革で未来へ進化するトップグローバル研究・教育拠点創成(SHARE-Q)	291	補助金等交付	-	-																																										
844	8	学校法人慶應義塾大学	4010405001654	「実学(サイエンス)」によって地球社会の持続可能性を高める	271	補助金等交付	-	-																																										
845	9	国立大学法人名古屋大学	3180005006071	21世紀、Sustainableな世界を構築するアジアのハブ大学	265	補助金等交付	-	-																																										
846	10	国立大学法人大阪大学	4120905002554	GLOBAL UNIVERSITY「世界適塾」	265	補助金等交付	-	-																																										
867																																																		
868	B																																																	
869		支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)																																									
870	1	独立行政法人日本学術振興会	1010005006890	審査・評価事業又は公表・普及事業	37	補助金等交付	-	-																																										
1098	支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載																												チェック																					
1099																																																		
1100	国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト																																																	
1101		ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)																																								
1102	1	-	-	-	-	-	-	-	-																																									